

クボタ環境サービス株式会社 様



For Earth, For Life
Kubota 株式会社 株式会社

<クボタ環境サービス株式会社について>

浄水場や工業用水用の浄水プラント、下水処理施設や最終処分場浸出液の処理施設、ごみ処理施設など各種プラントの設計・施工・補修から、運転・維持管理までをトータルで提供している。北海道から沖縄までの本社・大阪支社と 5 つの支店を含め、全国に 24 箇所の営業拠点を持つ。

「9TBのファイルサーバーの更新を前倒しで行わなければならないほど逼迫していたストレージ容量不足を解消しました。そして、NXPowerLiteは予測が難しいストレージ運用に欠かせないツールになると感じています」

2014年、クボタ環境サービス株式会社は更新期間まで1年の猶予があるにも関わらず、ファイルサーバーの刷新を迫られていました。逼迫するストレージの課題は、NXPowerLiteを導入することで、速やかに解決することができました。NXPowerLite導入の経緯と導入の効果について、クボタ環境サービス株式会社の塚田誠氏(写真右から2人目)と中沢泰明氏(写真左から2人目)にお話をうかがいました。

(写真右から2人目：クボタ環境サービス株式会社 本社 管理部 IT 推進グループ長 塚田誠氏。写真左から2人目：クボタ環境サービス株式会社 大阪支社 管理部 IT 推進グループ 係長 中沢泰明氏。)

写真右端：オーシャンブリッジ代表：持木 左端：同社営業部 亀谷

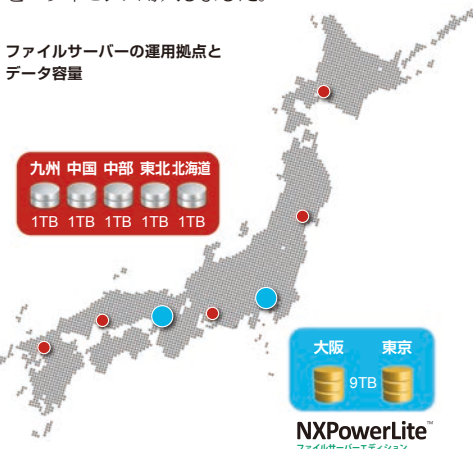
ファイルサーバー 2 台 合計 9TB に NXPowerLite を 2 ライセンス 導入

— 2015年4月に[NXPowerLite]を導入されていますが、現在の使用状況を教えてください。

現在、東京本社と大阪支社で合計9TB、札幌から九州までの5つの支店にそれぞれ1TBで、合計14TBのファイルサーバーを運用しています。

当社のコア事業は建設業ですが、工事写真のデータ量が增大し、その写真データが保存されているファイルサーバーの容量確保のため、東京本社と大阪支社でNXPowerLite ファイルサーバーエディションを2ライセンス導入しました。

ファイルサーバーの運用拠点とデータ容量



当初の予想を越えるデータ量の急増で、ファイルサーバー更新の前倒しが必要になる事態に

— ファイルサーバー容量が不足してきたと伺いましたが、原因は何だったのでしょうか。

原因は主に2つありました。

1つは、工事現場の確認、記録を目的として、工事報告書を作成するのですが、多い時には工事報告書に掲載する枚数の10倍以上の写真撮影することは珍しくありません。そのため、ファイルサーバーに保存されているデータの約70%がこのような写真でした。また、デジタルカメラの進化に伴い、写真1枚あたりのデータ量が增大し、各写真のデータ量増大と多数の写真データが重なり、サーバーを圧迫する原因の1つになっていました。

もう1つの原因は、今までは工事報告書などを紙で保存していましたが、最近では紙ではなくPDFでも保存するようになりました。法で定められた書類や図面などの電子納品化が進み、これも保管するデータ量の増加速度を加速する原因になっていました。

— ファイルサーバーが圧迫したことにより、こういったことが起きたのでしょうか。

当初1年後にファイルサーバーの更新を計画していたのですが、想定以上に容量増加が進み、このままではファイルサーバー更新を前倒しする状況に



“当初予定していたサーバー更新を前倒する事態になりました。”
大阪支社 中沢氏

なりました。そのため、一時的な対策などを行い凌いでいたのですが、本格的に対策を実施しなければならない状況になってしまいました。

残容量が逼迫したファイルサーバーへの対応で第一に求めたのは「即効性」

— ファイルサーバー更新の前倒しを検討するほど切迫した状況で、こういった対策を検討したのでしょうか。

まず、ストレージ増設を検討しましたが、増設は避けたいと考えました。理由は2つあります。

1つはコスト面です。信頼できるファイルサーバーに、必要な容量のディスクを増設しようとする、更新に比べてコストパフォーマンスが悪いという見積りになりました。

もう1つは運用・管理面です。これ以上のサーバーの増設は運用や管理の上で避けるべきという判断もありました。

もっとも費用対効果の高い対策が必要でしたが、コスト面では導入費用だけでなくその後の運用管理コストも考慮しなければなりません。また、ストレージ容量不足が目前に迫っているので、すぐに効果の出る対策が必要でした。

— 増設以外に何か対策を検討したのでしょうか。

運用面での対応も検討しました。社員に対して、運用基準を示し、不要な画像データを消去、アーカイブに移動するなどして、ファイルサーバーに保存するデータ量の増大を抑える方法です。

